



ファイングラシィSiクリヤー

■特長

1 外壁タイル面・目地の保護

化学結合により、陶器・磁器タイルと強靱に付着し、外壁タイルや目地部分を炭酸ガス、酸性雨、凍害から長期間保護します。

2 高耐候性

強固なシロキサン結合により、光沢低下や変色が極めて少なく、高耐候性を発揮します。

3 超低汚染性

特殊セラミック成分による親水化技術が、非常にすぐれた超低汚染性を発揮します。

4 ターペン可溶

弱溶剤系であるため臭気がマイルドで、さまざまな下地に塗装できます。

5 防藻・防かび性

藻・かびの発生を抑制します。

■用途

陶磁器タイル面・
タイル目地の保護

■適用下地

磁器タイル（釉薬あり・なし、どちらでも可） 陶器タイル（風呂場のタイル面への施工は避けてください）

注）大理石、金属光沢を有するラスタータイル、はっ水処理を施した素焼きタイル、グラファイトを施したいぶしタイル、れんがタイル・素焼き風タイルへの施工は避けてください。その他、特殊なタイル面への施工については、試験施工により確認してください。

仕 上 げ の 種 類

仕上げ 種類	生地肌	着色
	クリヤー仕上げ	エナメル仕上げ
塗料名	ファイングラシィ Si クリヤー	ファインシリコンフレッシュII
つや	つや有り・3・5分つや有り	つや有り・3・5・7分つや有り

塗 装 仕 様

■タイル面 / 生地肌（クリヤー）仕上げ・着色（エナメル・カラークリヤー）仕上げ

工 程	塗 料 名	塗り回数	使用量 Kg / m ² / 回数	塗り重ね 乾燥時間 (23℃)	希釈剤	希釈率 (%)	塗装方法
下 地 調 整	タイル面を補修したのち水洗いをし、十分乾燥させてください。 エポキシ注入材によるよごれは変色するおそれがありますので溶剤などで完全に除去してください。 エフロレッセンスはスクレーパー、ワイヤブラシなどで削り落とし除去してください。 洗浄剤などを用いる場合は、洗浄剤塗付前に、タイル面に十分に水を含ませてください。（事前に水を含ませることで洗浄剤による塗膜への悪影響を抑えます。）洗浄後は十分に水洗し、乾燥してください。 その後、pH試験紙などを用い塗装面が中性であることを確認してから塗装してください。（pH6～8）						
下 塗 り	ニッペファイングラシィSiクリヤー （つや有り）	1（～2）（注）	0.08～0.12	4時間以上	塗料用 シンナーA	20～40	エアスプレー
上塗り	生地肌 クリヤー 仕上げ	1	0.08～0.12	-	塗料用 シンナーA	20～40	エアスプレー
	エナメル 仕上げ	2	0.12～0.14	4時間以上	塗料用 シンナーA	0～10 5～10	はけ・ウールローラー エアレススプレー
	カラー クリヤー	1	0.12～0.14	4時間以上	塗料用 シンナーA	20～40	エアスプレー※

（注）下地の吸い込みが激しい場合などは、つや有り2回塗りが必要なことがあります。

※つや調整品では、目地部などで、タマリやダレなどができると、つや調整剤による白化状態が発生する場合がありますので塗装時は十分ご注意ください。

●上記の各数値は、標準的な数値です。被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。

●上記の使用量は、記載の塗装方法で標準的に使用する量を記載しています。必要に応じ、所定の使用量・膜厚になるように使用量・塗り回数を調整してください。

●カタログに記載されている内容は一般的な環境下での施工を想定して記載されております。特別な環境が想定される施工現場・部位に塗装される場合は、事前に当社営業までご相談いただけますようお願いいたします。

●ニッペファイングラシィSiクリヤーをローラーにて塗装する場合、つやむら、つやの上昇が発生する場合があります。あらかじめ試験塗装を実施し、仕上がりをご確認ください。さらに短毛ローラーにて塗装し、塗装時の希釈率は「0～10%」で塗装してください。（基本的にエアスプレーでの塗装をおすすめします。）

●カラークリヤーを塗装する場合、色むら・吸い込みむらなどが発生する場合がありますので、エアスプレーで塗装をしてください。

荷 姿

塗 料 名	色 相	つ や	容 量	混合比 (重量比)	塗料液・硬化剤混合後の 使用時間 (23℃)
ニッペファイングラシィSi クリヤー	透明	つや有り 3・5分つや有り	15kgセット (塗料液12kg・硬化剤3kg) 3kgセット (塗料液2.4kg・硬化剤0.6kg)	4 : 1	6 時間

施工上の注意事項

- 被塗面の洗浄やエフロレッセンスの除去に酸性洗浄剤・アルカリ性洗浄剤などの薬剤を用いる場合、薬剤洗浄前に被塗面に十分に水を含ませてください。薬剤洗浄後の水洗工程は、高圧水洗もしくはブラシなどを用いて入念に行ってください。薬剤が壁面に残存したまま本品を塗装しますと塗膜の縮み、白化、はく離を起こすおそれがあります。水洗後、塗装面のpHを確認する場合は、pH試験紙を塗装面に押し当てて測定してください。
- つや調整品を使用の際、タイル目地部の吸い込みが著しい場合には、乾燥後吸い込みむらによる目地部の白化(つや消し剤のたまり)を生じることがありますので、タイル目地部に目地はけなどで下塗りを増し塗り、もしくは下塗りを2コートして吸い込みを止めてから上塗りを塗装してください。下塗りには必ずつや有りを使用してください。つや調整品を下塗りに用いますと前述の目地部白化が生じやすくなります。
- 光触媒のサイディングボードには適応しておりません。光触媒処理を施した素材には、塗膜劣化が早まるなど不具合を生じる場合がありますので塗装を避けてください。
- つや調整品を使用する場合は下塗りに「つや有り」をご使用ください。つや調整品を2回塗りしますと、つやむらが生じることがあります。
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- シーリング面は、マスキングテープなどで養生を行い、塗装を避けてください。シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離、収縮割れなどの不具合を起こすことがあります。
- 大理石、金属光沢を有するラスタータイル、はっ水処理を施した素焼きタイル、グラファイトを施したいぶしタイル、れんがタイル・素焼き風タイルへの施工は避けてください。その他、特殊なタイル面への施工については、試験施工により確認してください。
- 目地部がぬれ色になるまで下塗りを塗装してください。
- やむを得ずローラーにて塗装する場合、つやむら、つやの上昇が発生場合があります。あらかじめ試験塗装を実施し、仕上がりをご確認ください。さらに短毛ローラーを使用し、希釈率は0～10%で塗装してください。カラークリヤーを塗装する場合、色むら・吸い込みむらなどが発生場合がありますので、スプレーで塗装してください。
- 目地部が深く、ローラーなどで入りきらない場合は、目地はけなどで塗装してください。
- 目地部の塗料たまりや被塗面にダレを生じた際は、目地はけ、ローラーなどでむら切りし、除去してください。
- すでに旧塗膜がある場合は、縮み、はく離を生じることがありますので、ケレンしてから塗装してください。
- つや調整品では、はけ、ローラーでの塗装はむらが出やすくなりますので、スプレー塗装をおすすめいたします。
- つや調整品では、塗り継ぎや補修でつやむらが出やすいので、面を切って通して塗装してください。
- 過剰希釈をすると本来のつやが発現しないおそれがありますので、規定の希釈量をまもってください。
- つや調整品は被塗物の形状、素地の状態、膜厚、色相、塗り重ね乾燥時間などにより、実際のつやと若干違って見える場合がありますので、事前に試し塗りをして確認してください。
- つや調整品は、使用中にも塗料液が分離しやすい場合がありますので、適宜かくはんしながらご使用ください。
- 防藻・防かび効果は、繁殖を抑制するものです。すでに繁殖している場合は、下地処理として除去および殺菌処理をしてから塗装してください。
- 被塗物の構造、部位、塗装仕上り形状、環境条件などの影響で、本来の低汚染機能が発現されない場合があります。
- 塗装面を部分補修する際には、硬化剤の入れ忘れにご注意ください。汚染むら発生の原因になります。
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- 所定のシンナー以外を使用したり、薄めすぎるとつや引けやダレ、かぶり不良などをきたす原因になりますので、必ず所定のシンナーおよび希釈率をまもってください。
- 硬化が不十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 硬化剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
- 塗料を扱う場合は、皮膚に付着しないようにご注意ください。また、蒸気やミストなども吸い込まないように十分にご注意ください。
- 塗膜の乾燥過程で水分の影響を受けた場合(高湿度、結露、降雨など)、塗膜表面が白化するおそれがあります。水分の影響を受けるおそれがある場合は、塗装を避けてください。
- 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
- 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ずまもってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 調色には必ず当社専用の原色をお使いください。
- 大面積の塗装では補修部分が目立つことがあります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの条件を同一にしてください。
- 汚れ、きずなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
- ローラー、はけなどは、ほかの塗料での塗装に使用すると、はじきなどが発生するおそれがありますので、十分に洗浄するか、専用でご使用ください。
- 塗料は内容物が均一になるようにかくはんしてください。特につや調整品では、つや消し剤が沈降している場合がありますので、かくはん機を用いて缶底の沈降物を十分にかくはんしてご使用ください。
- 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
- 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理してください。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- 本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は、事前に相談ください。

●本カタログの内容については、予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。

●本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。

●© Copyright 2023 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.

●日本ペイントホームページ <https://www.nipponpaint.co.jp/>

日本ペイント株式会社

北海道支店	☎011-370-3101	近畿支店	☎06-6455-9608
東北支店	☎022-232-6711	中国支店	☎082-281-2180
関東支店	☎03-5479-3614	四国支店	☎0877-56-2346
北関東信越支店	☎03-5479-3614	九州支店	☎092-751-9861
中部支店	☎052-461-1960		

カタログNo.

NP-B114

TY231108T

2023年11月現在